

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

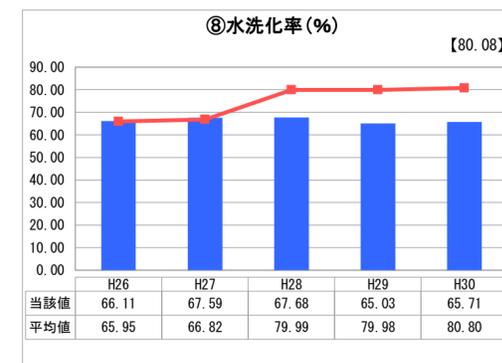
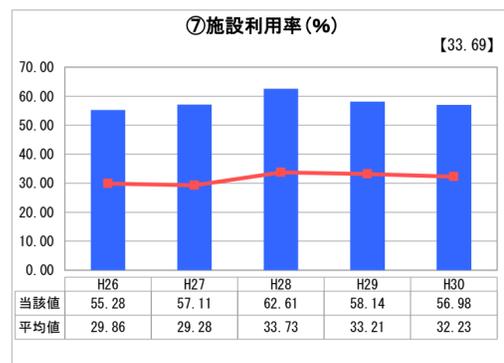
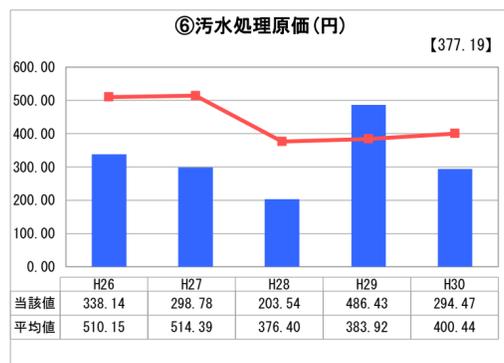
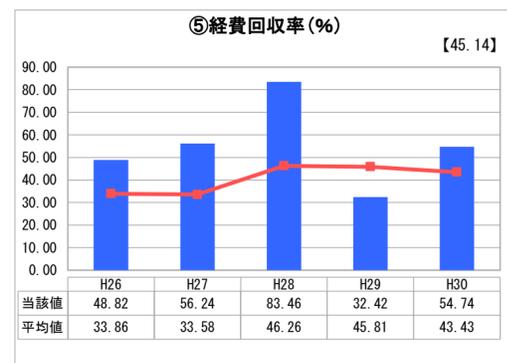
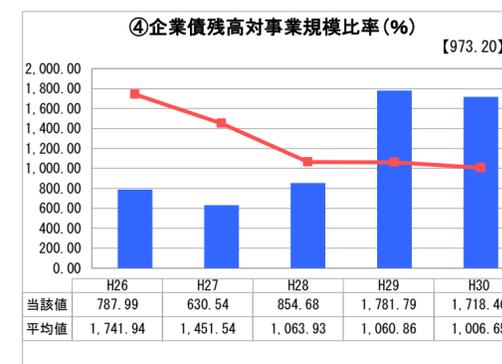
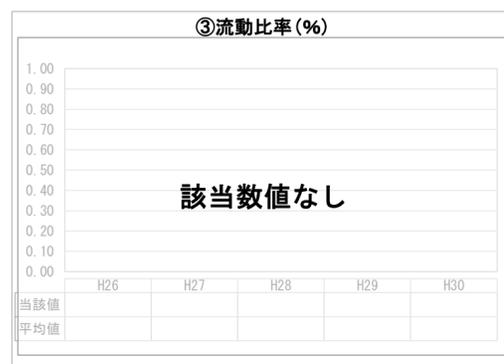
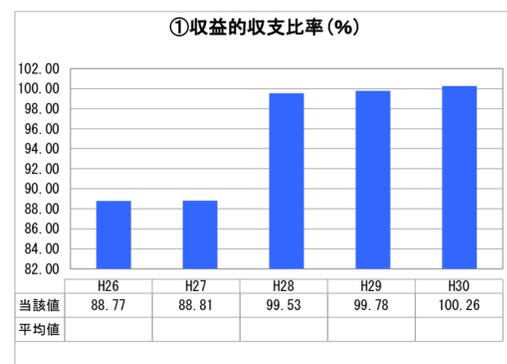
岩手県 宮古市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	0.53	106.87	3,024

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
52,973	1,259.15	42.07
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
280	0.39	717.95

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
費用に対する収益の割合を表す指標です。H30は100%を超えましたが、引き続き水洗化の普及を図りながら使用料収入の増加に努める必要があります。

④企業債残高対事業規模比率  
使用料収入に対する企業債残高の割合を表す指標です。施設整備は完了していますので、企業債残高は減少してきています。なお、H29から漁業集落排水事業の処理区域の一部を公共下水道施設に接続したことに伴う使用料収入の減少などから、企業債残高対事業規模比率は高くなっています。

⑤経費回収率  
経費をどの程度使用料収入で賄えているかを表した指標です。H29は漁業集落排水事業の処理区域の一部を公共下水道施設に接続したことに伴う使用料収入の減少などから、経費回収率は低くなりましたが、H30は下水道施設の維持管理費用が減少したことに伴い、類似団体より高い割合で経費を回収しています。

⑥汚水処理原価  
汚水1m<sup>3</sup>当たりの処理費用を表す指標です。H29は漁業集落排水事業の処理区域の一部を公共下水道施設に接続したことに伴い高くなりましたが、H30は下水道施設の維持管理費用が減少したことに伴い低くなっています。

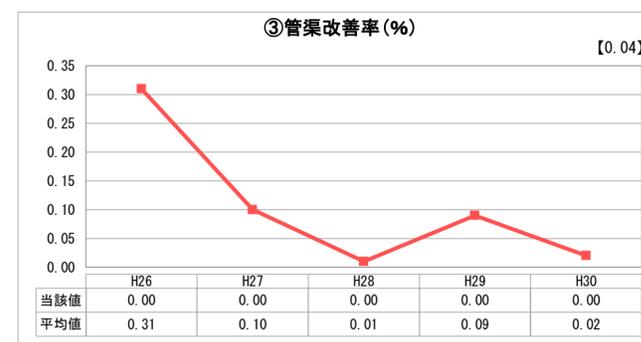
⑦施設利用率  
施設の処理能力に対する処理水量を表す指標で、施設の利用状況等を表す指標です。類似団体より高い割合で施設を利用しています。

⑧水洗化率  
水洗便所を設置して汚水処理をしている人口の割合を表した指標です。H29から漁業集落排水事業の処理区域の一部を公共下水道施設に接続したことに伴い低くなりましたが、H30は横ばいとなっています。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率  
下水道管を更新した割合を表す指標です。千鶏石浜処理区はH6から事業に着手しており、更新が必要な老朽化した下水道管はまだありません。※津軽石処理区は、H29に公共下水道施設に接続しました。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

使用料収入だけでは維持管理費等を賄えないため、一般会計からの繰入金を充てています。H29に津軽石処理区を公共下水道施設に接続したことに伴い、千鶏石浜処理区単独となっています。なお、施設整備は完了していますので、企業債残高は徐々に減少していきます。今後も引き続き水洗化の普及を図りながら、使用料収入の増加に努める必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。